

事業所名

のびのばlab

放課後等デイサービス・支援プログラム

作成日 令和6年 4月 1日

事業所理念		のびのばlabは障害児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適応することができるようまた、生活能力のために必要な訓練を行い、社会との交流ができるよう適切かつ効果的な訓練を行う。		
支援方針		集団生活と個別支援のバランスを考えながら、コミュニケーションスキル（SST）や日常生活スキルの向上（LST）、運動と感覚統合学習支援、自己表現と創造性の育成、社会参加と地域交流を促進し、保護者を核心に、関係機関との密な連携を通じて、お子さんの成長を総合的にサポートします。		
営業時間		月曜日～土曜日 9:00～18:00	送迎実施の有無	あり（片道30分以内を想定する）
支 援 内 容				
本人 支 援	健康・生活	大人や友達とのやり取りを楽しめるよう、支援員が援助し、放課後子供たちが安心してすごせる場所を提供します。持ち物の管理、道具の用意や片付けなど、環境の整備を自立的に行えるよう支援します。絵や文字のスケジュール表など使い、予定を分かりやすく伝えます。		
	運動・感覚	理学療法士によるプログラムを作成し、体幹運動や筋力トレーニングを活動に取り入れ体力と体幹の向上を目指します。音楽に合わせてリズム運動をすることで楽しく体を動かしリズム感と協調性を養います。		
	認知・行動	ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じて友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学びます。また、個別学習計画や宿題のサポートで基礎的な学習スキルを強化します。また活動を通して問題解決能力や記憶力を育みます。		
	言語 コミュニケーション	自分のしたいことを伝える、手伝ってほしいときに援助を求めるなど生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援します。また、言葉あそびや英語の活動を通して言葉や身振りでのコミュニケーションがとれるよう支援します。		
	人間関係 社会性	集団遊びや活動を通して、順番に行く、ルールを守る、友だちと協力する、失敗や負けを受け入れるといった他者と一緒に生活するためのスキルを身に着ける機会を作ります。また、人との関わりが増えるように支援します。		
家族支援		定期的に学校や家庭に様子が共有できるようにし、子供の成長と課題について保護者と話し合い、心のケアをサポートします	移行支援	必要に応じて学校の先生と子供の様子や支援方針について情報共有をします。
地域支援・地域連携		地域の行事等に参加し、地域との交流の中で障害についての理解を深めてもらうとともに交流を深められるようにします。	職員の質向上	定期的に研修・会議を行い、最新の知識と実践的なスキルを学んでいきます。